

たけだ良介
参議院議員

新型コロナウイルス感染拡大や激甚化・頻発化する自然災害から、命と暮らしを守る政治が求められています。医療や福祉の体制の脆弱さが浮き彫りになる一方、政府の補償や支援は不十分です。

しかし、国民と力を合わせた運動と論戦で政治を動かすことができます。一人一律10万円の給付、雇用調整助成金の拡充などを実現し、検察庁法改定案を廃案に追い込むこともできました。

暮らしに光を、未来に希望を。市民のみなさんと力を合わせます。

2020年8月 武田良介

新型コロナの影響から くらし・雇用をまもる 支援策をつぎつぎ提案

学生支援緊急給付金の要件 「相当柔軟に対応」と首相答弁

コロナの影響で困窮する学生に最大20万円を給付する支援制度の申請時、「バイト収入50%以上減」などきびしい要件を求めていることについて、機械的な選別基準ではないことを文科大臣に認めさせ、安倍首相が「相当柔軟に対応する。どんどん活用してほしい」と答えました。

バス・タクシー労働者への 直接支援、解雇許さぬ指導を

3月から営業収入が急激に落ちたタクシー労働者を直接支援する制度を要求。労働者の解雇を許さず、ただちに指導をと求め、厚労省政務官が「適切に指導する」と約束しました。

危険と隣り合わせで働く 建設労働者にPCR検査を

政府が事業継続を求めた建設業での感染確認をうけ、PCR検査の実施を要求。ガイドラインに、工事の一時中止の判断基準、中止の際に元請けが下請けを保護する原則の明記を求めました。

高校生らの通学定期券払い戻し 拒否するJR東日本に改善指導を

コロナによる一律休校で未使用となった通学定期券の払い戻しが拒否されている問題（定期券区外でSUICAのチャージ分を使っても定期券利用と見なされる）で、JR東日本に改善指導するよう要求。国交大臣がシステムの欠陥を認め、指導の検討を約束しました。



予算委で学生支援を求める武田良介議員（6月12日）

佐渡ヶ島を結ぶ離島航路 旅客船事業者への財政支援を

経営がひっ迫する離島航路の旅客船がコロナの影響でさらに利用者減に。佐渡汽船(株)など事業者への支援、補助率の引き上げを求め、国交大臣が「補助も適切に運用し対応したい」と答弁しました。



佐渡汽船船員と懇談(2月)



予算委で安倍首相をたずねる武田良介議員

GoTo キャンペーン 「電通」への丸投げ疑惑を追及 ホテル・旅館業者に直接支援を

予算委員会で「GoToキャンペーン」の「電通」丸投げ疑惑を追及した武田議員。各地の旅館や業者、観光協会などからコロナの影響や要望などの聞き取り調査をすると「今やるべきはGoToより消費税減税」との声が多数であることを紹介し、今こそ事業者に直接届く支援をと求めました。



石川県金沢市・近江町市場(7月)

日本共産党 参議院議員 活動報告 8号 2020年

たけだ良介

- 参議院国土交通委員会理事 ●決算委員
- 災害対策特別委員
- 北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員
- 国土審議会豪雪分科会委員

プロフィール：1979年、長野県中野市に生まれる。2003年、信州大学教育学部を卒業し、民青同盟長野県委員会専従に。2004年、民青同盟長野県委員長。2016年7月参議院議員に初当選。党中央委員。

リニア中央新幹線整備 3兆円投入やめ中止決断を

コロナ危機で東京一極集中の弊害も明らかになるもと、環境を破壊し、ばく大な費用をつぎ込むリニア中央新幹線(総工費9兆円)がコロナ後の社会にとって必要なのか、根本から問われています。

武田良介議員は、コロナの影響で新幹線利用者も減り、3兆円の公的資金投入(財政投融資)の返済計画が根底から揺らいでいると指摘。リニア建設を断念し、地域公共交通の充実にこそ予算をあてるべきだと主張しました。



参院本会議でリニア建設中止を主張(5月20日)

千曲川決壊、被害甚大 堤防強化の抜本策を

昨年の台風19号で堤防が決壊して甚大な被害をもたらした千曲川を国土問題の専門家とともに調査し、「千曲川シンポ」で報告。予算委員会で、「切れると言われてきたところだ」との被災住民の声を紹介し、堤防決壊の原因究明と住民への説明を求めるとともに、被覆型を含めた堤防の強化策を提案。その後、国交省が堤防全体を覆う被覆型での強化に計画を変更しました。



長野県・千曲川の決壊箇所を調査(2月)



三重県・湯の山温泉でコロナの影響調査(2月)



新潟駅2番線ホームの転落現場を調査(2月)



長野県・白馬村スキー場の雪不足を視察(2月)



愛知県・設楽ダム建設予定地を視察(3月)

長野県諏訪市の霧ヶ峰高原近くで東京ドーム40個分の面積の大規模太陽光発電所(巨大メガソーラー)建設を計画していた事業者(ループ)が6月18日、地元住民の理解が得られないと、事業からの撤退を表明しました。

武田議員は、水資源への影響を心配する地元住民の方と現地調査。国会質問で計画地内に「特定植物群落」があることを指摘し、開発規制の強化、追加調査などの対応を環境省に求めてきました。

大規模な森林伐採に住民怒り

諏訪メガソーラー

事業者が撤退表明

2020年第201回通常国会で質問20回—ねがい実現に奮闘

【3月10日/国土交通】
コロナ影響でバス・タクシー労働者の支援、車検証の延長問題
【3月18日/国土交通】
コロナの観光業・宿泊業への影響について
【3月19日/災害対策】
フロンティア堤防、アーマー・レベーターを含む堤防強化について
【3月24日/環境】
石炭燃料の海外調達と外国への供給事業やめ、気候変動対策を
【3月26日/予算】
コロナ対策、千曲川の堤防決壊について

【3月26日/国土交通】
住民無視の再開発推進の後ろ盾—土地基本法の改定について
【4月2日/国土交通】
離島航路のコロナの影響、佐渡汽船のジェットフォイル更新について
【4月7日/国土交通】
住まいの保障が大切、マンション関連法案について
【5月12日/国土交通】
転落事故あいつく新潟駅2番線ホームの改善、バリアフリー法の改定
【5月13日/決算】
コロナ対策で自治体支援を後押しする臨時交付金の拡充について

【5月14日/国土交通】
コロナ影響の解雇許さず、タクシー労働者の雇用を守る指導を
【5月19日/国土交通】
バスターミナルで大規模開発すすめる道路法等改定案について
【5月20日/本会議】
住民の足を守る地域公共交通の拡充を提案、リニア建設について
【5月26日/国土交通】
ライドシェアの「突破口」となる自家所有有償旅客運送の拡大について
【5月28日/国土交通】
コロナ対策で建設従事者へのPCR検査の推進について

たけだ良介議員

【6月2日/国土交通】
大手開発業者優遇につながる都市再生特措法改定案について
【6月9日/国土交通】
実効性ある規制へ、サブリース業(賃貸住宅管理業務適正化)法案
【6月12日/予算】
コロナ禍の「Go Toキャンペーン」と観光支援、学生支援について
【6月16日/国土交通】
一律休校による通学定期券払い戻し拒否、ドローン規制法の改定
【6月22日/決算】
リニア建設と会計検査、静岡県の有識者会議について

